知られざる北方四島

先史時代からの歴史文化を探る

2005年以来行われてきた日本とロシアの考古学・歴史学の専門家による合同調査 で、北方四島に残る多くの先史時代の遺跡が調査され、北海道本島で旧石器文化か らアイヌ文化までの各文化が栄えた時代にその遺跡は北方四島にまで拡がっていて、 北方四島は北海道本島の文化圏の一部になっていたことが明らかになっています。 さらに、北海道本島と北方四島の電信連絡の要となっていた電信線の根室側の陸揚 施設跡が近年注目され、様々な調査や取り組みが行われています。北方四島に関する 調査の第一線で長年活躍された右代啓視氏に、これらの知られざる北方四島の側面に ついてご講演をいただきます。



[講師紹介]



右代 啓視 USHIRO Hiroshi

国立民族学博物館 学術資源開発センター 外来研究員

法政大学国際日本学研究所 客員研究員

一般財団法人 北海道文化財保護協会 理事

学位。

博士(歴史学)

- ・1959年、北海道生まれ。
- •1982年駒澤大学歴史学科卒、2011年博士 (歴史学) 駒澤大学より授与。
- •1982年北見市郷土博物館、1983年北海 道開拓の村 (野外博物館)、1989年北海道 開拓記念館(総合博物館)、2025年北海道 博物館(旧:2015年に北海道開拓記念館 から名称変更)と博物館に勤務。博物館の 専門職(学芸員)として、主に考古学、歴史 学、第四紀学を研究し、他に民俗学、民族 学、古建築学などにも携わった。

研究領域は、北海道を中心とした北東アジ ア、北太平洋の先史文化を対象に、人類活 動史の構築について研究を進めてきた。こ の中で、古環境の復元、人類の拡散と移動 による文化形成、北方の要害遺跡などの研 究を進めた。ここ十数年前からは、特に千 島列島、北方四島の歴史文化、人類活動史 について研究を進めている。この間、北方 四島交流の歴史・文化の専門家として国後、 択捉、色丹島の現地で学術交流を進めた。

開催日 $14:00 \sim 15:30$ (開場 13:30)

) 領土・主権展示館 ゲートウェイホール

先着80名(事前申込み制・入場無料)

申込方法

①講演会名 ②開催日 ③参加者全員の氏名 ④代表者の電話番号 を 明記の上、 info@mtas.go.jp までメールにより送付

※本講演は、後日YouTubeチャンネルにて公開予定です。 詳細はホームページをご覧ください。https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan

お問合せ

領土・主権展示館 03-6257-3715

[所在地] 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト1階

*イベントの内容が変更・中止となる場合がございます。お出かけ前にホームページ等をご確認ください。 *本講演の内容は講演者の個人的な見解であり、講演者の所属機関あるいは主催者の見解を必ずしも代表するものではありません。





